

子どもたち非常食体験

丸森の小中9校で防災給食

防災の日の1日、子どもたちに非常食を体験してもらおうと、丸森町の小中学校9校で

防災給食が実施された。災害時などに調理ができなくなったことを想定し、同町学校給食センターが企画。同センターの栄養教諭、岡崎美香さん(36)は「防災について考えてもらおうきっかけになれ

ば」と話す。

今回で4回目。同町立丸森小では、レトルトカレーやご飯のほか、野菜入りゼリー、アーモンドフィッシュ、牛乳などが提供された。レトルトカレーを温めずに、そのままご飯にかけて食べた子どもたちは「冷たいけれどおいしい」と話していた。

台風10号が県内に最

接近した30日、同町では土砂災害警戒区域に避難勧告が出た。自宅にいたという同校6年、笠間あさひさん(11)は「何かあれば非常食を食べる時もあるかもしれない。災害への備えをしないとけないのかなと少し思った」と話していた。

【真田祐里】



防災給食を食べる子どもたち＝丸森町の丸森小で